

CONTENTS

3. 機器 各部の名称	2
-------------	---

8. 機器の使用方法	4
------------	---

9. 各安全装置について	7
--------------	---

10. オペレーション上の注意点	7
------------------	---

8. 機器の使用方法

<使用時の確認>

使用する際は、まず最初にホッパーが正しくセットされていることを確認してください。

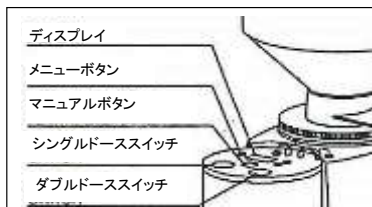
調整カラー部分のピンでしっかりと固定されているのが正しい状態です。ロッキングスライド(ホッパー内の豆がグラインダー部に落ちてくるのをシャットするスライド)が開まっている状態で、ホッパーにコーヒー豆を投入し、その後ロッキングスライドを開けて豆がグラインダー内にきちんと落ちていくことを確認してください。



<電源を入れる/切る、豆を挽く>

電源コンセントを入れたら、本体のメインスイッチを「I」の方へ入れ、電源をONにします。グラインドを開始する手順は、以下に示すモデル別の記述に従ってください。
電源を切る時は、スイッチを「0」の方へ入れます。

■SUPER JOLLY ELECTRONIC ■MAJOR ELECTRONIC ■KONY ELECTRONIC ■ROBUR ELECTRONIC



- ①ボタンパネルのディスプレイが、ここではドージング回数を表示します。
- ②フォークにフィルターホルダーを乗せてから各ボタンを操作します。
 - シングルドースをおこなうときは左側のスイッチを押す
 - ダブルドースをおこなうときは右側のスイッチを押す
- ③ドージングの回数がカウントされ、ディスプレイに表示されます。
 - シングルドース1回...カウント「1」
 - ダブルドース1回...カウント「2」

★マニュアルボタンでドージングする★



マニュアルボタンは押している間ドージングをおこないます。ドージングをストップしたいタイミングでボタンを離します。

回数カウンターはマニュアルボタンでのドージングを記録しません。

挽き目(メッシュ)を調整する

コーヒー豆の挽き目を粗くしたり細くしたりするには、ホッパーの下部にある挽き目調整ディスクを動かして調整します。

挽き目調整ディスクを使う際は、挽き目調整ディスクにセットしてある、付属の調整ハンドルを使用してディスクを動かしてください。

- 挽き目を細かくする場合...反時計回りに動かします。
- 挽き目を粗くする場合...時計回りに動かします。

▼粗くする場合



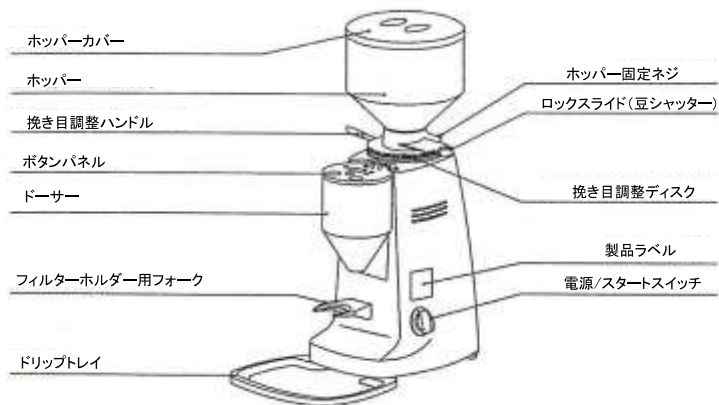
▼細かくする場合



挽き目を変えた場合、新たに設定した挽き目になるまで豆を挽きます。その後、設定した挽き目が適正かどうかチェックしてください。

3. 機器 各部の名称

■SUPER JOLLY ELECTRONIC ■MAJOR ELECTRONIC ■KONY ELECTRONIC ■ROBUR ELECTRONIC



9. 各安全装置について

●オーバーロード・プロテクション

モーターが過負荷の状態になる(＝オーバーロード)と、モーターが停止します。この場合は、本体のメインスイッチを切り、本体の電源コードをコンセントから抜いて、専門の技術者に修理を依頼してください。

また、オーバーロードを確認した際は、修理を依頼する前に本体の過熱を下げるようにしてください。

●モーターのロック

ホッパーが正しい位置にセットされていない場合、ホッパー下に位置するマイクロスイッチが作動し、モーターをロックします。

この場合、ホッパーを正しくセットすることでロックは解除されます。



●ドーサー用安全ガード

ドーサーに取り付けられている安全ガードです。

取り外したい場合は必ず専門の技術者に依頼して取り外してください。

ユーザーにおいての取り外しは避けてください。けがのおそれや、本体に悪影響を及ぼす可能性があります。

10. オペレーション上の注意点

●ホッパーに豆が入っていない状態でスイッチをONのままにしないでください。

●異物混入を避けるため、ドーサー・ホッパーのカバー(フタ)は常に閉めた状態にしておくようにしてください。

本製品は高速で回転する刃物を内蔵しています。本体の動作中は、可動部分に触れないよう、じゅうぶん注意してください。

●ホッパーを本体から取り外す際は、電源を切ってからおこなってください。

●電源スイッチを切った直後は、モーターがわずかに動作しています。

電源を切ったあともじゅうぶん注意してください。

●本体の分解・改造(ホッパーの付け替えなど)は絶対にしないでください。

●いかなる修繕・修理でも必ず専門の技術者に依頼してください。

●メンテナンスや清掃をおこなう際は、必ず本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

本体に水気を与えないよう注意してください。

漏電事故につながるおそれがあります。清掃の際も注意してください。

●長期間使用しない場合は、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。